

ワカテンザン



1979年4月13日生 牡 鹿毛
父:マイスワロー
母:オキワカ(母の父:リマンド)
早来・吉田牧場生産
調教師:戸山為夫(栗東) 馬主:小塚美近氏

小さな身体に流れる偉大なる“血”

重賞(きさらぎ賞)勝ちを含め、スプリングステークスまで6戦3勝2着2回と結果を残し、クラシック路線を歩んだワカテンザン。

その戦績とともに注目されたのは、悲運の名馬テンポイントに繋がる母方の“血”だった。

彼の祖母ワカクモは1966年の桜花賞馬。69年に現役生活を終えた彼女は繁殖の道へ。その第一子として72年に生まれたのが、ワカテンザンの母オキワカだった。そして翌73年、テンポイントが誕生。つまり、ワカテンザンはテンポイントの甥ということになる。

栗毛の馬体の美しさと額の流星から“流星の貴公子”と呼ばれたテンポイント。クラシックの勲章を手にはできなかったが、古馬になって天皇賞(春)を制し、「無冠の帝王」を返上。

とりわけ、ライバル・トウショウボーイとの2度にわたる有馬記念での死闘は、いまでも名勝負として語り継がれているが、海外遠征への壮行レースとして出走した日本経済新春杯で骨折。懸命の治療の甲斐もなく事故から42日後、ついに力尽きた。その死はNHKが昼のニュース番組でトップニュースとして報じるなど、社会現象にもなった。

そんな名馬が逝った翌79年に生を受けたワカテンザンは、叔父が2着と無念の涙を吞んだ皐月賞の舞台に立った。

20頭立ての16番枠に入ったワカテンザンは、積極的なレース運びで、向正面では前を行くゲイルスポーツ、ダンサーズルーラ、ハギノカムイオーラをマークするように6、7番手まで進出。そして3コーナー手前からスパート、一気に先頭をうかがう構えを見せた。直線に入ると内から伸びてきたアサカシルバーに後れをとったが、懸命に追いつき、その差を徐々に詰めていく。ところがゴール前、この争いに割って入ってきたのがアズマハンターだった。一瞬で2頭を捉え、そのまま皐月賞馬の栄冠を手にした。

一転して2着争いを演じるようになったワカテンザンとアサカシルバーの争いは熾烈を極め、その決着をファンは固唾を吞んで見守ったが、ワカテンザンがハナ差で2着を確保した。

この後、2番人気で日本ダービーに挑戦したワカテンザン。直線、内から伸びてゴールまで200mの地点からはバンブーアトラスとの追い比べとなったが半馬身及ばず、またしても2着。

非業の最期を遂げたテンポイント。彼を知るファンにとって、その血を受け継ぐワカテンザンは、名馬の思い出を甦らせてくれる存在だった。それがたとえ脇役であろうと、430kgほどの小さな馬体を躍動させながら懸命に走るその姿に喝采を送った。



1982年★第22回きさらぎ賞 後方追走から直線で大外に進路を取ったワカテンザン(帽色・緑)が鮮やかな差し切り勝ち。クラシック戦線に名乗りを上げた。

年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
1981.11.29	中京	3歳新馬	芝1200	4	1:12.3	小谷内秀夫
12. 5	中京	3歳新馬	芝1200	1	1:11.2	小谷内秀夫
12.20	中京	中京3歳S	芝1400	1	1:24.4	小谷内秀夫
1982. 1.10	京都	日刊スポーツ賞シンザン記念	芝1600	2	1:36.9	小谷内秀夫
2.14	中京	きさらぎ賞	芝1800	1	1:49.2	小谷内秀夫
3.28	中山	フジテレビ賞スプリングS	芝1800	2	1:51.9	小谷内秀夫
4.18	中山	皐月賞	芝2000	2	2:02.8	小谷内秀夫
5. 9	東京	NHK杯	芝2000	5	2:02.0	小谷内秀夫
5.30	東京	東京優駿	芝2400	2	2:26.6	小谷内秀夫
10.24	京都	京都新聞杯	芝2000	3	2:03.0	小谷内秀夫
11.14	京都	菊花賞	芝3000	7	3:07.6	小谷内秀夫
12.26	中山	有馬記念	芝2500	7	2:37.2	小谷内秀夫
1983. 1. 5	京都	スポーツニッポン賞金杯	芝2000	2	2:02.6	小谷内秀夫
1.23	京都	日経新春杯	芝2400	6	2:29.7	小谷内秀夫
11.12	京都	トバースS	芝1400	5	1:23.8	小島 貞博
11.27	京都	京阪杯	芝2000	3	2:03.4	小谷内秀夫
12.25	中山	有馬記念	芝2500	5	2:34.6	小谷内秀夫
1984. 1.22	京都	日経新春杯(GII)	芝2600	4	2:44.8	小谷内秀夫
2.19	京都	京都記念(GII)	芝2400	11	2:32.4	小谷内秀夫
3.11	阪神	鳴尾記念(GII)	芝2500	5	2:35.4	武 邦彦

※レース名は当時の表記による

1982年★第42回皐月賞 積極的にレースを進めたワカテンザン(帽色・橙)だったが、アズマハンター(帽色・白)に交わされ2着。タイトル奪取はならなかった。

